

科目番号	53205	分類	専門科目 看護教育科学領域	履修者	看護科学コース (看護教育・研究者プログラム)		学年		
科目名	看護教育学演習Ⅲ (Seminar in Science of Nursing Education Ⅲ)						2		
							配当シスター		
							通年		
担当者	○上國料 美香			区分	必須	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 看護学実習の場の多くは流動的であり、それでもなお学生が確実に実習目標を達成するためには、質の高い教授活動が不可欠である。看護学実習の意義や特徴、政策医療の動向の理解とともに授業計画の作成をとおし、看護学実習における教授活動もしくはそれに携わる際に授業計画を立案する意義を考察する。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護学実習に関する政策医療の動向とその背景を説明する。 看護学実習の意義や特性、学生の特徴を踏まえ、授業計画を作成する。 看護学実習における教授活動もしくはそれに携わる際に授業計画を作成する意義を説明する。 						<ol style="list-style-type: none"> 看護学の継承・発展を目的とする研究能力 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を目的とする能力 実践を行いながら学部学生の臨床実習指導、新人看護師等の現職教育、生後教育・卒業教育への支援や指導ができる能力 			
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	ガイダンス 授業の目的、目標、授業展開の理解							上國料	
第2～5回	看護学実習の理解 看護学実習に関する政策医療の動向とその背景 看護学実習の意義や特性、学生の特徴								
第6～9回	実習の授業計画の作成 ※看護学実習Ⅱ(「看護教育学における授業展開」p.253-354) 行動目標を評価する具体的方法と時期の決定、授業計画の作成 中間発表								
第10～11回	実習の授業計画の洗練 授業計画の課題と修正の成果の共有								
第12～15回	学習成果の看護学各領域の実習への活用 実習の授業計画を立案する意義								
事前・事後学習	事前学習： 各回に該当する参考図書や関連文献を精読する。 事後学習： 各回の内容について参考図書等を用いて復習する。授業計画を修正する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組む。								
評価の方法	参加状況・演習成果(60%)、課題レポート(40%)により総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	◎ 舟島なをみ：看護教育学における授業展開—質の高い講義・演習・実習の実現に向けて—第2版、医学書院、2020。 ◎ 杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学 第8版、医学書院、2024。 参考書・資料は適宜に紹介する。◎必須図書								
備考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								